



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人天仁会	代表者	平良直樹	法人・事業所の特徴	医療法人設立の介護事業所で特に認知症の医療連携、相談に特化している開設(建築)13年目の施設であるが事業所空間は清潔感があり環境が整っている小規模多機能型居宅介護事業所と2ユニット型の認知症対応型共同生活(グループホーム)が同一建物内にある地域密着型サービスの複合施設です。
事業所名	小規模多機能ケアホームうえの家	管理者	玉城めぐみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	0人	1人	2人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>継続して自己評価を実施、活用していくため、感染対策を行いながら毎日の申し送り、ミーティング内で実施方法について検討する</p> <p>2022年度の自己評価実施計画 2022年9月自己評価研修会 2022年10月自己評価実施 2022年11月資料説明、配布等 2023年1月外部評価 2023年3月改善計画報告等</p>	<p>自己評価に関しては、計画通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の為、職員集合研修会は難しく、各々個別での研修会として実施した(ワークシート活用)。活動にも制限があり、感染症対策に努めた。</p>	<p>コロナ架で難しい部分も多いと思いますが、概ね計画的に取り組まれている様子が分かります。</p>	<p>継続して「サービス評価、自己評価」を実施していく。日々の感染対策を実施しながら毎日の申し送りやミーティングで実施方法について検討、共有していく。</p> <p>2023年度の自己評価実施計画 2023年9月自己評価勉強会 2023年10月職員自己評価実施 2023年11月資料説明、配布等 2024年1月外部評価 2024年3月改善計画報告等</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>事業所内に入りやすい工夫、設えとして、事業所内外の掲示物(季節飾りや花の植栽)は継続して実施していく。</p> <p>2022年度は感染症対策を行いながら、設えや環境整備を考え実践していく。</p>	<p>事業所入口に設置した、地域掲示板に季節感のある掲示物、AED設置施設、介護相談等の情報を掲示。事業所内外の季節感のある掲示物や植栽の手入れは継続できた。</p>	<p>清潔感もあり、庭の植栽も手入れされていると思います。掲示板にAED設置事業所を案内していたのは良いと思いました。</p>	<p>事業所内に入りやすい、尋ねやすい工夫、季節飾りや花の植栽は継続して実施していく。</p> <p>感染対策を行いながら、利用者と一緒に環境を整えていく。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>運営推進会議を通じて、地域情報、地域課題を確認し、圏域の地域包括支援センターと連携していく。</p> <p>感染症対策を徹底しながら地域交流に努める</p>	<p>運営推進会議、運営会議において、地域包括支援センターの職員参加が安定し、支援が必要な地域情報を共有できた。感染症対策で、地域交流室の貸し出しは年間を通じて制限した。夜間の外灯点</p>	<p>以前に、迷子の高齢者を連れてきてくれた方がいた話が有り、地域の方へ介護事業所として認識はされていると思います。</p>	<p>地域包括支援センター泊や、法人医療ディと連携し、地域の支援が必要な利用者の情報を共有し支援に繋げていく。</p>

		灯は年間実施。クリスマスイルミネーションも実施し外灯代わりの役割が出来た。コロナ架で、地域との交流は難しかった。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症対策を徹底しながら、市中の感染状況を確認し、どのように地域に出向いて本人の暮らしを支える取組みが行えるか、家族とも相談しながら支援を検討していく。	コロナ架で、地域行事や利用者家族の行事なども制限があった。感染症対策をしながら、近所の清掃、エントランスや駐車場でのおやつ会等を行えた。	コロナ架の中で、地域のイベントや行事への参加は難しいと思います。地域の活動自体が縮小しているので、参加は難しいことは、利用者、ご家族も理解されているのではないのでしょうか。	感染対策を徹底しながら、地域での暮らしの支援について、自宅での生活スタイルの確認、聞き取り、必要な資源の把握等、情報収集に努め、ご家族とも情報を共有しながら在宅生活を継続できるよう今後も支援していきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で、報告や情報共有のみでなく、利用者個々の課題や事業所運営の悩みなどを共有し、意見交換やアドバイスを活かしていく。	運営推進会議で、利用者情報の共有や、利用者個々の課題や困りごと等を共有し、意見交換やアドバイスが参考になった。	昨年までは運営推進会議自体が、コロナ架で事業所のみで開催は致し方ないが、今年度は感染対策をしながら、開催出来ていたと思います。今後は Web 開催等の工夫も検討してみてください、活動等の取り組み状況は確認できていました。	運営推進会議で、利用者の情報共有、報告だけでなく利用者個々の利用状況、課題、事業所運営での悩み等を共有、相談し意見交換やアドバイスを運営に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年間計画策定による防災訓練（消防訓練含む）の計画・実施 防災計画（消防訓練含む）を計画、実施した場合は運営推進会議にて情報を共有する。	防災訓練（消防訓練含む）は、年2回を計画し、運営推進会で写真等を利用して実施内容を報告できた。備蓄の報告も出来た。	コロナ架の中、難しい部分もあると思うが、次年度の運営推進会議の第1回目で計画報告をしてみたいかどうか。	法人内で大型災害を想定した、エレベーター操作訓練を予定。今後も年2回の防災訓練時には毎回シナリオを作成し、各階協力体制が取れる訓練を実施していく。災害時、感染対策を行いながら、地域の方とも連携が取れるよう訓練時にはポスター、チラシなどを作成し参加依頼していく。